

タイ政府 福岡県に総領事館を設置へ！

福岡県議会議員

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま
政治刷新中！

第45号

2018年2月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■自転車活用の振興策
■骨髄ドナー最優秀賞

閣議決定、県議会の外交が実る

経済、観光で交流深化

タイ王国政府は1月16日の閣議で、総領事館を新たに福岡県に設置することを決定しました。東京の大使館、大阪の総領事館に続くもの。福岡県議会としてタイの閣僚らに設置を強く要請してきており、地方議員による自治体外交の成果といえます。今後、福岡県を中心として、九州とタイとの経済や観光、文化などで

の交流がさらに促進されることを期待されます。

この約2年間、私も福岡県タイ友好議員連盟の事務局長として、ソムキット副首相やドーン外相などのタイの主要閣僚との会談や友好提携を結んでいるバンコク都議会の関係者への働きかけ、県議会本会議での知事への提案などで微力ながら関わってきた経緯があり、今回の決定を大変うれしく思います。実現に向けてご指導とご尽力をいただいた県議会の先輩方や県行政をはじめとする全ての皆様に心から感謝します。ソムキット副首相は昨年5月の会談で、福



ソムキット副首相（写真右奥）に福岡県への総領事館設置を求めたときの会談の様子。中央左は樋口明議長、田辺は左奥＝2017年5月29日、バンコク都の首相府で



総領事館設置にご協力いただいたバンコク都議会のニラン副議長に感謝の意を伝える＝1月31日

岡県への総領事館設置について、「私も大変賛成。外務省と話をし

たち福岡県タイ友好議員連盟として1月30日からタイを訪問。外務省やバンコク都議会に赴き、設置に向けた力添えに深く感謝を申し上げたうえで、ソムキット副首相やドーン外相、バンコク都議会議長に宛てた福岡県議会議員長の親書を手渡しました。

2020年に向けて盛り上がる！

古賀市内で2020年の東京オリンピック・パラリンピックのフラッグツアアを展覧しました。私は古賀西小、舞の里小、古賀東小、青柳小に同行し、

地元の県議としてフラッグツアアの意義を伝えました。子どもたちは「本物」のフラッグに触れながらとても喜んでくれました。夢と希望を与えるスポーツの振興は県政の重要な責務。2019年のラグビーW杯とともにしっかりと取り組んでいきます！

田辺の政治活動を連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント→ @tanabe_kazuki



子どもたちにフラッグツアアの意義を説明＝1月26日、舞の里小学校で

自転車を活用した地域振興を提案 県が取り組みを推進へ！

骨髄ドナー支援が マニフェスト大賞を受賞！



福岡県議会の本会議で私から知事に提案した骨髄移植のドナー支援策。このたび、政策本位の政治をめざす日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」で最優秀政策提言賞に選ばれました。私が委員長を務める民進党全国青年委員会として、2016年に急性白血病で亡くなった日比健太郎・名古屋市議の闘病体験に基づく提言から「骨髄ドナー登録推進プラン」を作成し、全国各地で骨髄ドナー支援のための政策形成に取り組んでいることが評価されたものです。応募総数は2597件。

私は全国青年委員会を代表し、健太郎氏の妻の日比美咲・名古屋市議と一緒に東京・虎ノ門で開かれた授賞式に出席。挨拶で「47都道府県に500人いる全国青年委員会の地方議員ネットワークを使って各地方議会を通じて彼が遺した政策提言を実現していこうと決断しました。私たちが所属する民進党は非常に厳しい状況にあります。ただし政党の価値は国政だけではなくあります。地方議会のネットワークがあること。民主主義の根っこを支えているのは私たちであること。しっかりと今回の受賞で自覚をしてこの国の民主主義の歴史のために引き続き頑張ってください」と決意を述べました。

日比美咲市議も「白血病患者にとって骨髄バンクのドナーを募ることは、自らの努力だけではなかなかない。他人の善意に頼ることしかできません。しっかりとこの賞を励みにこの問題に取り組んでいきたい」と述べました。

なお、古賀市では2017年度から、ドナーとして骨髄を提供した人に対して「1日2万円×最大7日」の助成を行う制度をスタート。県内では新宮町、北九州市、柳川市、みやま市、大木町も同様に取り組んでいます。

福岡県議会12月定例会で一般質問に臨みました。本会議での質問は県議就任以来連続27回目。質問のテーマは「自転車を活用した地域振興策と自転車活用推進計画」。小川洋知事は課題認識を共有し、2018年度の早期に県として「サイクルツーリズム」に対応した基本的方向性を取りまとめる方針を示しました。



あわせて、私が提案した「市町村と連携した情報発信と多言語対応の必要性」について、知事は「観光情報を一体的かつ適時に発信していくことが重要」と応じ、検討を進める姿勢を示しました。さらに自転車

「リズム」に対応した基本的方向性を取りまとめる方針を示しました。サイクルツーリズムとは自転車を活用した観光で、近年、国内外で関心が高まっています。私は本会議で、県内のサイクルリストの方々の意見を紹介しながら具体策を提案。知事はこれを受け、市町村や観光協会、有識者などで構成する検討会で、安全性の確保やサイクリングに適したコース設定、交通結節点や飲食店などにおけるサイクルスタンドの設置、休憩場所、トイレ、割引などのサービスを提供できる協力店舗の普及などを検討したうえで、「自転車で観光しやすい環境整備に関する基本的な方向性について、来年度の早い段階で取りまとめていく」と述べました。

本新聞や毎日新聞も報道しています。

もう一つの質問のテーマは「2018年度以降の多重債務者支援」。生活困窮者自立支援制度の家計相談支援事業のモデルとなった福岡県の多重債務者生活再生事業について、県が18年度から事業の終了も含め見直す方針であることが分かり、私から本会議で問題提起。「伴走型の相談支援」が事業の特長とされており、私から、現在の事業を見直すにあたり「代替策」となる家計相談支援事業の全市町村での実施が必要と指摘し、小川洋知事は「(家計相談支援事業を)未実施の県内12市に対し、できるだけ早く、家計相談支援事業の有効性を示し、実施について県を挙げてしっかりと取り組む」と表明しました。この問題については西日本新聞や毎日新聞も報道しています。

<田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業
(高51回、現在は同窓会顧問)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会(～13年)
国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)
- 2013年 新社会推進商工委員会(～15年)
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会(～15年)
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長(～17年)
- 【所属】 福岡県議会・農林水産委員会
同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
同・タイ友好議員連盟事務局長
同・スポーツ議員連盟幹事
- 民進党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
民進党全国青年委員長
福中・福岡同窓会顧問
古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】 会社員の妻、10歳の長男、7歳の長女
古賀東小学校PTCA会長 (PTCA=PTA+地域のC)



みなさんと
ともに
地域での活動



田辺かずき事務所からのお知らせ

【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があつてこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただいています。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書(1～2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただいています。事務所(092-692-8510)までご連絡ください。